



新年、明けましておめでとうございます。

保護者の皆様方には、ご家族おそろいでよい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は、本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

年末、お正月の過ごし方は、各ご家庭でそれぞれ違うと思います。

我が家では、テレビで「行く年来る年」を見ながら、新年の時報とともに、新年の挨拶を交わし、その後、家族で村の神社へ初詣に出かけます。これまでは息子や娘と一緒に出かけましたが、彼らも大きくなり、今年はずいに妻と二人だけになりました。

1年365日。同じように陽は昇り沈み、日は過ぎていきますが、この大晦日の夜と元日の朝は特別なものがあると思います。空気が凜と澄み、身が引き締まる思いがします。そして、一年に感謝し、新たな勇気を与えてくれます。



元旦。

6時半頃、学校に来て、校舎の回りを巡り異常がないか確認した後、校舎西側の丘の上で三河の山から昇ってくる初日の出を拝みました。毎年行っているのですが、今年は雲がかかり太陽が見えません。

しかし、7時10分過ぎ、雲の切れ間から太陽が姿を現しました。昇ってくる太陽に手を合わせ、今年の北中生の幸せと、よき年となることを願いました。テレビでは、富士山をはじめ各地からの初日の出の様子、特に今年は東京スカイツリーからの初日の出が報じられていましたが、私には学校から拝む初日の出が最高だと思います。

「辰」は『漢書』律曆志によると「振」（しん：「ふるう」「ととのう」の意味）で、草木の形が整った状態を表しているとされる。（フリー百科事典『ウィキペディア』）

動物にあてはめると「竜（龍）」。十二支の中で唯一の想像上の動物です。

古代中国の神話では「竜」は神獣とされ、中国では皇帝のシンボルとなっていたそうです。

「昇り竜」という言葉もあります。

北中生一人一人が各々の目標に向かって昇っていってくださることを願っています。私たち職員一同、全力で支援をしていきますので、昨年同様、よろしくお願いいたします。

あわせて、保護者の皆様のこの一年のご多幸を祈念いたします。

本年もよろしくお願いいたします。



〔文責：小田〕